

## 近畿大学次世代基盤技術研究所報告 Vol.4(2013)

### の発行にあたって

近畿大学次世代基盤技術研究所  
所長 角田 勝



本報告書（近畿大学次世代基盤技術研究所報告）は、前誌の近畿大学工業技術研究所研究報告書（Vol. 9 2009）を引き継いで、早第4巻（Vol. 4 2013）となりました。平成21年度に採択された文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」を機として、平成22年4月に開所された次世代基盤技術研究所への改組に伴っています。

その後、本研究所は戦略的研究プロジェクトである「地域連携による次世代自動車技術に関する研究」はもとより、広島地域の産官学の連携研究拠点の形成を目指して「社会連携センター」をはじめ、現在6つのセンターを設置して活発な活動を行っています。「自動車技術研究センター」、「建築環境研究センター」、「先端化学生命工学研究センター」、「サービス工学研究センター」、「先端ロボット工学研究センター」です。うち「先端ロボット工学研究センター」は、21世紀の超高齢化社会の到来に備えて安全・安心・快適で持続可能な社会の構築への要請に応じ、これまで培ってきた産業用ロボットの基礎技術を医療福祉や生活支援の分野への展開を図るため、本年度に設立致しました。近畿大学の各学部とも連携して次世代のロボット技術を開発するとともに、企業や研究機関とも共同して先端技術の実用化を目指しています。

本報告書では、平成24年度の5つのセンターにおける活動報告のほか、産官学連携による研究成果、研究所員の学術雑誌論文も再録して、研究所全体の活動状況をまとめています。これらの活動報告を通じて最新技術情報を提供し、本報告書が広く地域産業界に携わられる方々の参考となり、産学金官の連携が一層深まれば幸いに存じます。

平成25年6月